

単元名	折って、切って、巻いて(デザインや工芸など)	配当時間	4時間
単元の目標	(1) 紙の特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解することができる。 (2) 紙の特性やよさ、加工方法、飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練ることができる。紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。		

標準的な展開例

10270203_001

【準備等】さまざまな種類の紙、カッターマット、カッター、定規、筆記用具、はさみ、のり

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 参考作品を鑑賞する。 ○教科書の作品を鑑賞し、紙にどのような加工を施した作品かを分析しながら、作品の作り方についてもイメージする。 ★紙の可能性について考えよう。 ○掬花の仕組み・開くと飛び出す仕組み・じゃばら折りの折り方を実際に体験する。 2 主題を決める。 ○様々な素材、大きさの紙に「折る、切る、巻く」の加工を施し、どのような装飾ができるかを試す。 ★紙でつくるよさはどこにあるのだろう。 ○紐でつくるよさについて話し合う。 ○複数の試作ができたところで、装飾をする場所を決定して、装飾場所に合わせて、加工方法を組み合わせるなどしてアイデアを深める。 3 主題を基に構想を練り、制作をする。 ★主題に合った表現を工夫しよう。 ○試作品を元に、装飾する場所に併せて、紙の色、紙の種類を選択し、本制作を進める。 4 鑑賞会を行う。 ★紙で表現するよさを感じ取ろう。 ○完成した作品を設置し、作品のコンセプトを発表し、感想を述べ合う。	・「折る、切る、巻く」の加工方法によって紙がさまざまな表情を見せることをつかませる 【評】紙の特性やよさ、加工方法、飾る場面をもとに、美しさなどの工夫を考えながら鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」評価する。 ・「折る、切る、巻く」加工によってできる陰影に美しさがあることと、光を透過させる紙の特徴も理解させる。 【評】紙の特性やよさを生かしてデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・「折る、切る、巻く」のそれぞれの加工方法によってどんな装飾が可能かを考え、その後加工方法を組み合わせた作品も考えさせる。 ・「造形的な視点」を確認させる。 ・試作にタイトルを付けさせることで、主題をまとめさせる。 【評】紙の特性やよさ、加工方法、飾る場面をもとに、美しさなどの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・装飾する場所や主題に合った紙の選択ができるようにさせる。 【評】紙の特性、形や色彩、構成に着目し、美しさなどをとらえ、加工方法を工夫して見通しをもって表す活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・作品のコンセプトについて「折る・切る・巻く」の加工方法をどのように組み合わせで作ったのかを交えながら説明させる。 【評】紙の特性やよさ、加工方法、飾る場面をもとに、美しさなどの工夫を考えながら鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【備 考】

本単元は、私たちの身の回りには現在数千種類もの紙があると言われ、さまざまところで利用されている。紙は可塑性に富み、折ったり、曲げたり、加工方法を組み合わせることによって多様な表現が可能となる。また、光の透過性もあり、光の当て方しだいでさらにその表現は広がりを見せる。本題材ではさまざまな紙に触れさせ、紙の特性を生かした表現を試すことができるよう指導したい。